

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



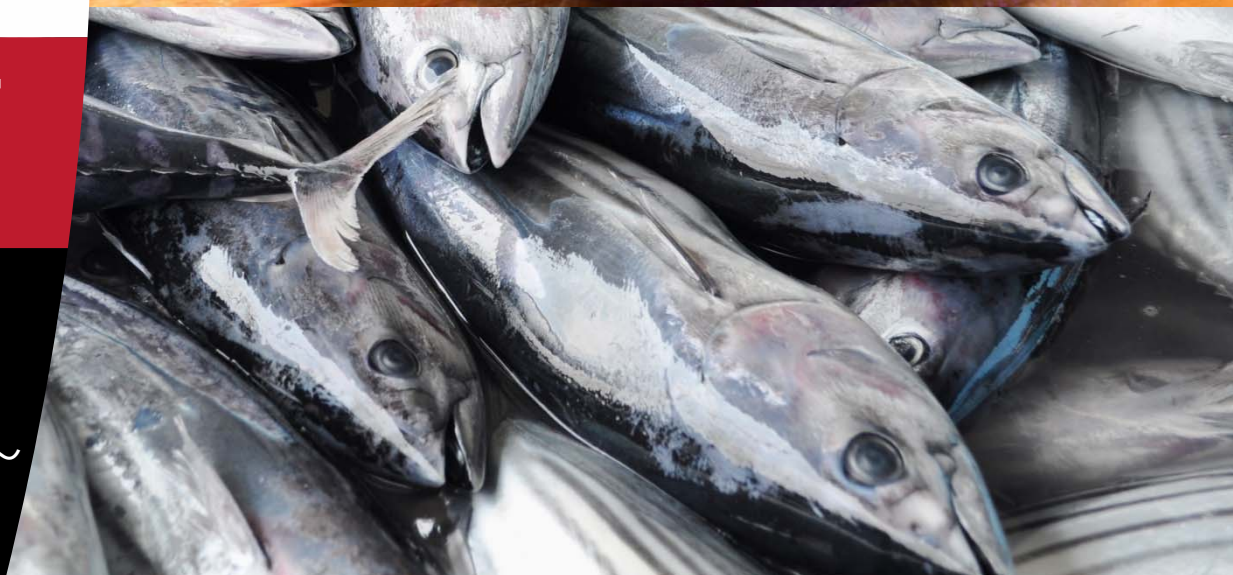
ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



宮城県気仙沼市
が応援するふるさと名物

三陸の豊かな海の恵み
～気仙沼の海産物を活用した
水産加工品群～





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

平成30年 3月 7日

宮城県気仙沼市

地域の
プロフィール



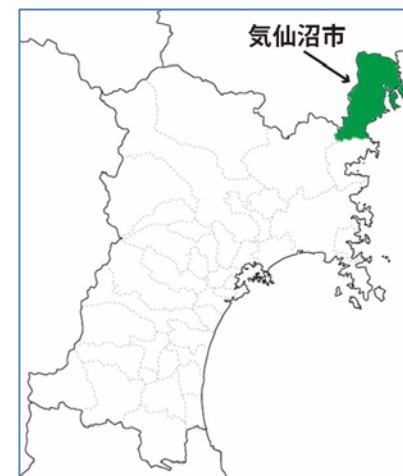
気仙沼市観光キャラクター
「海の子 ホヤぼーや」

気仙沼市は、宮城県の北東端に位置する港町です。リアス式の三陸海岸に天然の良港「気仙沼漁港」を有し、古くから遠洋漁業の基地として発展してまいりました。

また、森から運ばれた栄養分は、豊かな沿岸漁業資源をもたらしています。

気仙沼市では、三陸の海がもたらす新鮮な魚介類、これらを原料とした水産加工品が市民の食卓にのぼり、また市外に出荷してまいりました。

東日本大震災では、魚市場や加工施設も甚大な被害を受けましたが、水産加工場集積地、高度衛生管理に対応する魚市場の整備を進め、市民や行政、関係者が一丸となり復旧・復興に努め、市震災復興計画に掲げる「日本一活気溢れる水産都市の実現」を目指しています。



主な地域資源

気仙沼市魚市場・漁港発 活気溢れる水産都市「気仙沼の！」新鮮魚介類

特定第三種漁港（※）の気仙沼漁港に位置する「気仙沼市魚市場」には、沿岸漁業だけではなく、遠洋・沖合漁業を営む漁船が日本中から入港し、水揚げされた様々な水産物が全国に向けて供給されています。生鮮かつお・めかじき・さめ類は水揚げ日本一を誇ります。

また、養殖漁業も盛んで、気仙沼の各漁港には牡蠣やホタテ、わかめなどが水揚げされています。

（※）第三種漁港のうち、水産業の振興上、特に重要な漁港で、全国13漁港が指定されています。

◆主な地域資源

めかじき かつお さんま さめ わかめ かき ホタテ ほや まぐろ
アカザラガイ あわび イサダ（つのなしおきあみ） こうなご（小女子）
うに さけ まるずわいがに かまぼこ 笹かまぼこ 寿司 フカヒレ



ホタテ



さんま



めかじき



かつお



かき

三陸の豊かな海の恵み ～気仙沼の海産物を活用した水産加工品群～

気仙沼には様々な水産物が水揚げされ、魚市場や漁港の背後地の水産加工場では、気仙沼が誇る全国ブランドのフカヒレをはじめ、サンマの佃煮、昔ながらの手法で作られているカツオの生利節（なまりぶし）など、優れた加工技術によって、古来から様々な魚介を原料とする優良な加工品が生産されてきました。

この他にも、カジキの燻製（生ハム風）や塩ウニ、かまぼこ類など、三陸気仙沼の海の豊かさを象徴する商品が数多くあります。



フカヒレ



ほや塩辛



笹かまぼこ



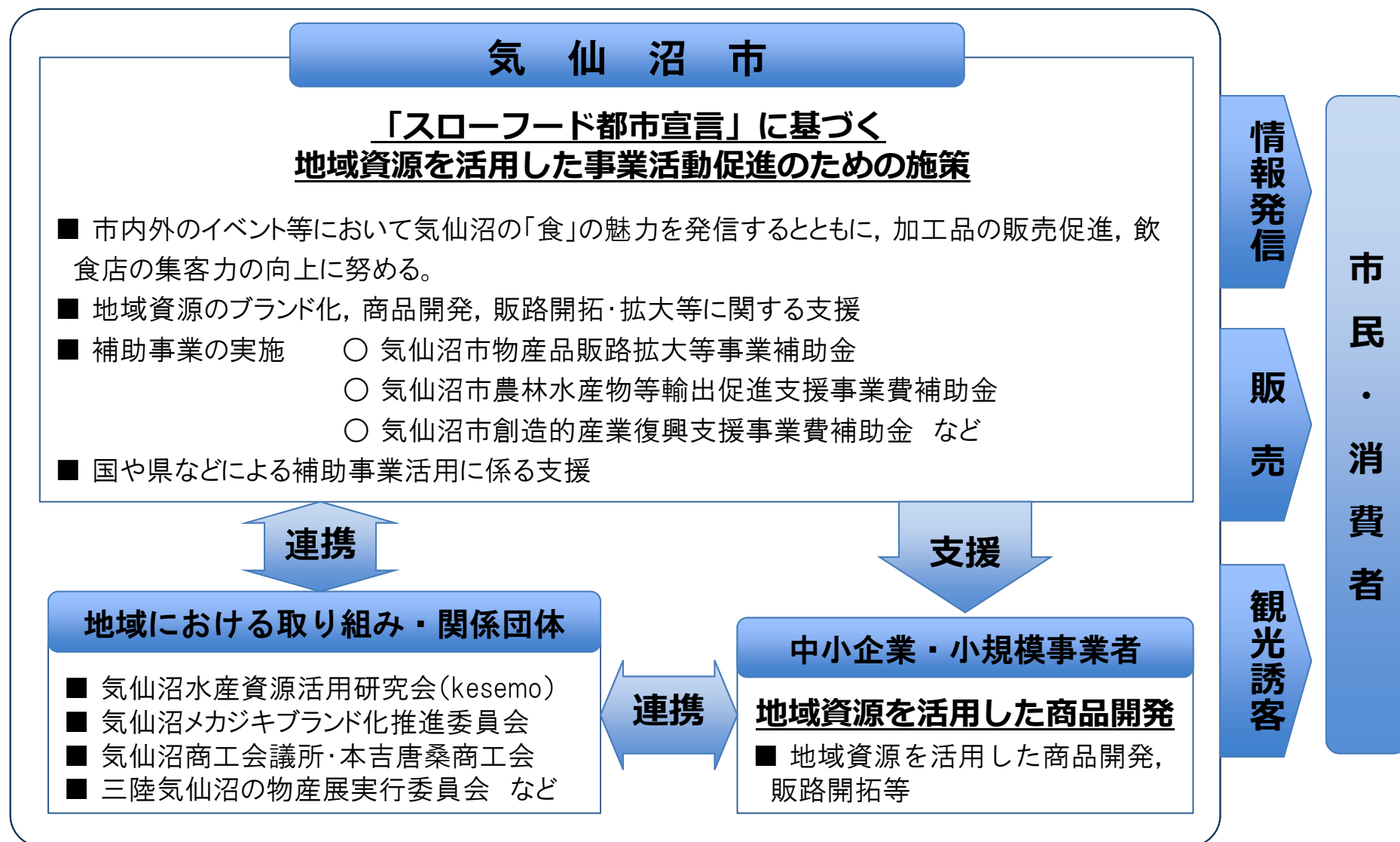
鰹なまり節



さんま佃煮

気仙沼市の取り組み

「ふるさと名物応援宣言」による気仙沼市支援施策の概要



「気仙沼スローフード都市宣言」

ふるさとを愛する私たちは、美しいリアスの海と緑豊かな山や川など、恵まれた自然環境と共生しながら、地域固有の食文化と生活を大切にしてきました。

しかしながら、近年、食を育んできた自然や伝統的な文化は、便利さを優先する生活様式の変化により、失われつつあります。

地域のかげがえのない財産である風土と食文化を守り、次の世代に伝えていくこと、そして多様性を認めあう心豊かな人間性を育み、自然と調和する住みよいまちにすることが私たちの願いです。この願いを実現するため、私たちは、心をひとつにして、ここにスローフード運動の精神に基づき、自然と文化を守りながら、食を活かした個性的で魅力あるまちづくりを進めることを宣言します。

- 地域の豊かな食材を育む海や山、川などの自然環境を守り、次の世代に引き継いでいきます。
- 地域の風土が育んだ、伝統的な食材や料理技法、質の良い食べものと飲みものを守り、工夫し、提供していきます。
- 安全で安心な質の良い食材を生産する人々を守り、育てていきます。
- 子供たちを含め、人々に、食の楽しさや味覚の大切さ、真の心の豊かさを伝えていきます。
- 地域や国、信条の違いを超えて、それぞれのもつ食の多様性を認めあい、交流を通して相互の理解を深めながら、世界の平和に寄与していきます。

平成18年9月27日 議決

気仙沼市の取り組み

◆宣言に基づく取組事例

＜プチシェフコンテストの開催＞

行政と民間団体の協働により、子供たちを対象とした料理コンテストを実施しています。

気仙沼地域の新鮮で豊富な食材や伝統的料理、調理方法などを、家族とのコミュニケーションの中で学ぶことを目的としています。

また、料理そのもののほか、自然と暮らし、生産者と消費者など、食を通じた様々なつながりに関心を持ち、食の楽しさや味覚の大切さ、真の心の豊かさを感じる契機となることにも期待するものです。



プチシェフコンテストの様子

「魚食健康都市宣言」

気仙沼市は、全国屈指の水産都市として、国民の動物性たんぱく質の供給につとめています。

豊かな海の幸である水産物は、米とともに私たちの食生活にとって欠かせない食糧です。

米と魚を基本とした伝統的な日本型食生活は、各国から高く評価され、とりわけ我が国においては、魚食普及による健康の維持・増進が図られつつあります。

水産業を基幹産業としている本市は、極めて栄養的に優れている魚をとり入れた食生活により、市民がこぞって健康で快適な生活をおくることを願い、ここに魚食健康都市を宣言します。

平成18年9月27日 議決

気仙沼市の取り組み

◆ブランド化・商品開発の取り組み

気仙沼水産資源活用研究会

気仙沼市の豊かな水産資源を活用し、市場に左右されない高付加価値な機能性食品、化成品、美容品などを独自の視点で研究開発し（ブランド名:kesemo）、高収益企業群を形成しながら、新たな産業・雇用の創造を目指すという目的のもと、25社の地元企業と気仙沼市が協働で取り組んでいます。



kesemoブランド商品



メカしゃぶ

メカすき

気仙沼メカ×カレー

気仙沼メカジキブランド化推進委員会

水揚げ日本一を誇るメカジキの知名度向上、メカジキの食としての魅力を市内外へ浸透させるための情報発信を目的に、「気仙沼メカジキ本」「メカジキ動画」の作成、市内飲食店と連携した「メカしゃぶ」「メカすき」「気仙沼メカ×カレー」など、食の開発に取り組んでいます。

気仙沼市の取り組み

◆販路開拓・拡大の取り組み

気仙沼市アピールショップ 「気仙沼PORT」の運営

平成28年7月に株式会社横浜インポートマートと協力連携協定を締結し、同社が運営する商業施設「横浜ワールドポーターズ」に気仙沼市アピールショップ「気仙沼PORT」を開設しました。

「気仙沼PORT」を中心とした横浜をはじめ、関東圏における気仙沼の物産品や「食」に関するPR、情報発信を行っています。



「気仙沼PORT」店内



横浜新港・さんま祭り



気仙沼食材フェア提供メニュー
(サメ唐揚げ・めかぶサラダ・わかめしゃぶしゃぶ・メカジキ握り)

気仙沼市の取り組み

◆販路開拓・拡大の取り組み

「気仙沼市産業まつり」を開催

本市で生産される水産加工品をはじめ、野菜、花卉、木工品など、優良な商品を展示・販売し、全国に向けて情報発信するとともに、物産品の一層の販路拡大と地場産業の振興を図るため、「気仙沼市産業まつり」を、産業や港文化の中心である魚市場を会場として開催しています。



「三陸気仙沼の求評見本市」を開催

優良な気仙沼の水産加工品の販路開拓を図るべく展示商談会「三陸気仙沼の求評見本市」を開催し、全国へ商品のPR・情報発信を実施しています。

また、物産品の販路拡大を目的に、事業者が物産展や商談会に参加するための助成金交付事業を実施しています。



気仙沼市の取り組み

◆気仙沼市が実施する支援制度

気仙沼市内の事業者が行う、販路拡大や商品開発等の取り組みに対する補助事業を実施し、水産加工品等を全国に情報発信しています。

<主な補助事業>

【販路拡大関係】

■ 気仙沼市物産品販路拡大等事業補助金

産業復興に資するため、商談会、展示会、物産展等に出展し、または商談会等を開催することにより物産品の販路開拓及び拡大に取り組む事業者に対する支援を行う。

■ 気仙沼市農林水産物等輸出促進支援事業費補助金

本市で生産される農林水産物及び農林水産物加工品の輸出振興に向け、海外市場における販路拡大・開拓を進め、輸出量及び輸出品目の拡大を図る事業者に対する支援を行う。

【商品開発関係】

■ 気仙沼市創造的産業復興支援事業費補助金

新規起業または地域資源等を活用し、新商品開発、販路開拓など、新たな事業展開を行う事業者に対する支援を行う。



仙台駅における気仙沼物産展